

# 地元企業の技術に感心

## 幸区の「シヨウエイ」が出張授業

川崎市幸区の濾過装置メーカー「シヨウエイ」が2日、同市中原区の宮内中学校で、濾過装置のミニチュアを使って濾過の仕組みや水資源の有効活用についての出張授業をした。

総合学習で学校の近くを流れる多摩川について学んでいる1年から3年の約30人が対象。初めに、同社開発部の農原花織さんが、雨水が地下水になる仕組みを例に濾過を説明。温泉やプールで使用されている濾過装置を小型化したものを使い、青のりを入れた水を濾過する様子を観察した。

生徒たちも、漏斗に小石と砂を入れた「簡易濾過器」を使って実験。「きれ

## 水の濾過、中学生と実験

いになった」と口々に歓声が上がった。次に、濾過器にたまった汚れの取り除き方を説明。水を逆流させる「逆洗」を実演した。初めて濾過装置を見た2年の内田舞優さん(13)は「身近な水のことだったが、専門家の話は新鮮。逆洗はびっくりした」と話していた。

市は市内の企業が持つ技術や研究成果、キャリア教育につながる仕事の内容を子どもたちに伝える授業プログラムを作成。学校や企業の要望に応じて出張授業を支援している。「地元企業の技術力を知り、親近感を持ってもらえたら」と市の担当者は話していた。

(星井麻紀)



真剣なまなざしで濾過実験に取り組む生徒たち。川崎市中原区宮内4丁目